

Topic 1

◇今春入試合格体験記 第5弾 合格者喜びの声

岸岡 晃平くん

■合格大学：国立 千葉大学 法政経学部 法政経学科

■学校名：都立 戸山高校 ■校舎名：小竹向原校



●合格を手にしての感想

3年の夏休みから本格的に受験勉強を開始して、そこから1日6～10時間の勉強を毎日続けました。辛いときには自分の目標の大学のパンフレットを眺めたり、自分の将来の姿を想像することで乗り越えました。だから合格を手にしたときは本当に嬉しかったし、努力が報われたと感じました。勉強を続けて良かったと思いました。

●俊英館に通塾して良かったところは？

私は小6の頃から俊英館に通っていたので、とにかく落ち着いて勉強できる環境だったのが良かったと思います。進路の相談にも先生方が真剣にのってくださったので、本当に自分の進みたい道へ進むことができました。

●後輩へのアドバイス

1・2年生のうちには、しっかり遊んでおくことが重要です。しかし、ただ遊ぶだけではなく、その中でメリハリをつけて、おさえるべき英単語、古文単語などをきちんと習得しておく必要があります。次に学校生活では部活や行事にしっかり打ちこむことが重要です。部活や行事に本気で取り組める人は、勉強にも本気で取り組むことができます。塾で映像授業を受ける場合には、その特徴を利用し、効率的に使うことが重要です。分からなければ、何度も巻き戻したり、逆に分かるところはとばしたりと、限られた時間を有効に使えるようにしましょう。「勉強は質が重要だ」という人がいますが、こういう人ほど、ものすごい量の勉強をしています。

勉強の量を増やせば、おのずと質はついてくるものです。たくさん勉強してその成果を手にとしましょう。

大熊 菜月さん

■合格大学：東京薬科大学 薬学部 ■学校名：県立 川越女子高校 ■校舎名：飯能校

●将来の夢や目標は？

私の将来の夢は、薬剤師の国家試験に合格し、薬局の薬剤師になることです。私が弓道部に所属していたとき、私は選手としてではなく、選手の補佐として大会に出場することが多くありました。その仕事をしていくうちに、支える人の大切さに気づくことができました。そのときから、私は患者さんの不安を取り除いてあげられるような薬剤師になりたいと思うようになりました。

薬学部がある大学の中で、東京薬科大学を選んだのは、私は大学でも弓道を続けたいと思ったので、弓道部がある大学を選んだのと、大学の雰囲気が川越女子高校と似ていたからです。

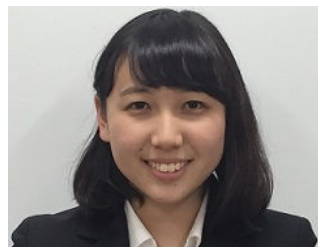
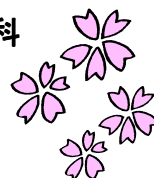
●後輩へのアドバイス

私が高校生活で目標にしたのは、勉強と部活動両立です。同じ目標をかかげている人も多いと思いますが、多くの人が勉強を疎かにしがちです。一番大切なのは、学校の授業をしっかり聞くことです。先生の話の中で大切だと思ったことはノートにしっかり書いておいた方が良いでしょう。黒板に書いてあることも、プリントに書いてあることも大事ですが、先生の話の中にも、問題を解いたりする上で大切な事が含まれていることが多いです。だから居眠りはあまりしないようにした方が良いでしょう。また、余裕があれば、予習・復習をしておきましょう。私は復習があまりできていませんでしたが、次の日の授業の予習は必ず毎日やって、復習をしない代わりに授業で習ったことはなるべく授業中に理解して、ほぼ完璧にするという心意気で授業を受けていました。これだけでもだいぶ変わると思います。何事も日々の積み重ねが大切だと思います。

鈴木 萌さん

■合格大学：首都大学東京 健康福祉学部 理学療法学科

■学校名：都立 国分寺高校 ■校舎名：恋ヶ窪校



● 合格を手にしたの感想

ずっと目指していた大学なので、本当にうれしいです！！

受験を終えて今思うことは「どうやっても悔いは残る」ということです。半年前は「まだ半年もある」と思っていたのですが、始まってしまえば本当にあっという間に終わってしまいました。志望校に合格することはできましたが、「あの時こうしていれば」と思うことはたくさんあります。過ぎたことはもうどうすることもできませんが、受験期という不安定な時期において、この塾のアットホームさは確実に私の支えとなりました。ありがとうございました。

● 俊英館に通塾して良かったところは？

俊英館の良いところは、まずアットホームであるということです。先生と生徒の距離が近く、気軽に相談することができました。塾へ来るのが楽しいということが、自主的に学習に取り組むことにつながったのだと思います。映像授業も自分のペースで学習できるので、部活などにも力を入れている人にはとても合っていると思います。私は中学準備講座から大学受験まで6年間俊英館にお世話になりました。たくさんご迷惑をお掛けしたと思いますが、先生方は嫌な顔一つせず親身になってくださいました。

● 後輩へのアドバイス

私が「1・2年生のうちにやっておくべきこと」で思うことは授業内容を忘れないことです。3年生になり受験期に入れば、ほとんどの人が1・2年の総復習をしますが、その時に1・2年の授業内容を少しでも覚えている人と忘れてしまっている人とでは、大きな差になってしまいます。その差は後に自分を苦しめることになってしまいます。そうならないためにも、1・2年の授業内容を忘れないことはとても重要になってきます。しかし、まだ高校生活に慣れていない1年生、部活や行事の中心になる2年生の時に、毎日授業内容を復習するのは難しいと思います。そういう人は、授業を毎回大切にするとか、テスト期間だけでも範囲の復習をするなど、できることを少しずつやっておくべきです。

何もしないと3年生になって、「1・2年の時にもっと勉強しておけば」と後悔すると思います。1・2年の時の貯金は3年になって必ず役に立ちます。

「成績を上げる秘訣」は、自分の伸ばし方を理解することだと思います。私は強制されて勉強するのはすごく嫌だったので、その時の気分でやる教科を決めていました。その方が意欲も湧くし、私には合っていたと思います。映像授業のメリットは、やはり自分のペースでできることです。オススメ講座はセンター直前の教科別講座です。毎回テストがあるので、より本番を意識して学習することができました。

有田 大輝くん

■合格大学：明治大学 商学部 商学科 ■学校名：幕張総合高校 ■校舎名：市原辰巳台校

● 合格を手にしたの感想

無事に大学合格を手にすることができて、ほっとしています。これからの大学生活がとても楽しみです。僕が受験を意識し始めたのは、部活を引退する1ヶ月前くらいからでしたが、不安だらけでした。そこから隙間時間でできる英単語などを真剣に行い、部活を引退した翌日に必要な参考書を買って行ったのを覚えています。

● 後輩へのアドバイス

僕は部活動をやっていて帰りが遅くなるが多かったのですが、まず大事な事は、「勉強は人のためではなく自分の将来のためにするもの」とであるという意識を持つこと重要だと思います。そして、どんなに疲れていても平日は30分、休日は1時間は机に座って“勉強しようとする”ことが必要です。たとえ丸々寝てしまっても、そのような意識を持つことが部活をしている間は重要だと思います。この時間にプラス電車・バスの行き帰りや休み時間に小テストの勉強や英単語等の復習を行うことで、忙しい平日でも1時間は勉強できると思います。

映像授業を見るなら、スーパーウェブの英語と現代文はオススメです。特に現代文は、文章を正しく、速く読めるようになり、文章読解が格段に上がりました。

皆さん、大学受験は厳しい戦いですが、合格を勝ち取った時の喜びはかなりのものです。高い目標を持って日々のちょっとした予習・復習からでも一生懸命頑張ってください！

1 大学入試改革 「学力評価テスト」 年複数回実施を見送り

大学入試改革の制度設計を議論する文部科学省の専門家会議は3月25日、最終報告を取りまとめた。

現在の中2が高3になる2020年度に大学入試センター試験から替える予定の「大学入学希望者学力評価テスト」は年複数回の実施を当面見送り、記述式とマークシート式のテストを別日程で行うことも検討する。採点態勢の整備や日程確保など課題は多く、委員の意見に隔たりもあって、実施日程や対象科目など具体的な枠組みを示すには至らなかった。

今後は文科省が出題内容や採点態勢などを検討。17年度にそれらの方針を公表し、実施大綱を19年度に定める予定だが、20年度に開始できるかどうか不透明さが残る。

知識偏重や一発勝負からの脱却を掲げた14年12月の中教審答申を受け、専門家会議は15年3月から議論。複数回実施を提言した中教審に対し最終報告は、記述式などで学力を多面的に評価することにより、一回実施でも「教科の知識に偏重した一点刻みの評価の改革」という点は大きく改善される」と説明した。

記述式は、解答に一定の条件を設定する形式で国語と数学の2教科で導入し、特に国語を優先。当初は短文解答で、次期学習指導要領で学んだ高校生が受ける24年度以降に文字数を増やす。

答申にあった教科・科目の枠組みを超えた「総合型」などの文言は消え、各教科で思考力を測るよう改善するとした。記述式は採点に時間がかかると想定。コンピューターの活用やマーク式より前倒しでの実施日程も検討するが、高校の行事や大学の個別入試との調整は難航しそうだ。

中教審答申と専門家会議最終報告の内容

		答申	最終報告
大学入学希望者 学力評価テスト	解答方式	マーク式だけでなく記述式を導入	マーク式は正解が一つに限られない出題。記述式は当面、国語と数学とし、特に国語を優先
	問題形式	教科・科目の枠組みを超えた「総合型」を出題	「総合型」の言及なし。各教科で思考力を測るよう改善
	回数	挑戦の機会を与えるため、年複数回実施	複数回実施は当面は見送り、記述式とマーク式を別日程とすることも検討
高校基礎学力テスト	対象者	高校2～3年生	高校1年生から可能
	時期・回数	夏から秋を基本に年2回程度	時期や回数は学校が選べる仕組みに
	活用方法	進学や就職での基礎学力証明	現行学習指導要領で実施する間は、大学入試や就職に活用しない

2 大東文化大学 「教職課程センター」開設

大東文化大学は4月に「教職課程センター」を開設する。これは、同大の教員養成の歴史と伝統を引き継ぎ、教職を志望する学生をサポートする全学的な組織として開設するもの。教職セミナーや各種実習の支援、教育委員会との連携、現職教員の支援を行うほか、大学独自のカリキュラム編成や教員養成等に関する国内外の研究、地域連携等に取り組む。

大東文化大学は、その前身である大東文化学院の1923年創立当初から中等教員・漢文科の無試験校として認定を受けて以来、文科系総合大学として発展しながら教員養成に力を入れ、多くの優れた教員を社会に送り出してきた。こうした中、これまでの教員養成の歴史と伝統を引き継ぎながら、教職を志望する学生をサポートする全学的な組織として、教職課程センターを開設することとなった。

同センターでは、教職セミナーや各種実習の支援、教育委員会との連携などを通じて、教職を志望する学生を支援。また、国や地域・学生の現状に合わせて、在学生にふさわしいカリキュラム編成をしたり、国内外の教員養成等に関する研究などを行う。

3 東京経済大学 「キャリアデザインプログラム」誕生

東京経済大学は、2017年4月から“就業力”を自ら育成するための基礎を身につける「キャリアデザインプログラム」の導入を決定し、カリキュラムなど具体的な検討を進めている。入学時には学部を決めずに、50人の定員を4つある各学部から割り当て、AO入試と一般入試の全方式で受験生を募集する予定。2004年に開設された「21世紀教養プログラム」以来、13年ぶりに行う新たな学部横断型の履修プログラム導入となる。

「キャリアデザインプログラム」の主な特徴としては、

- (1) 4年間を通じてキャリア教育を行う
 - (2) 入学時には学部を特定せずに入門科目を学び、2年次から学部所属し専門科目を学ぶ
 - (3) 学部横断型の広い分野の科目が履修可能である
- の3点が挙げられる。

◇ 大学入試を基礎から知る

第1回 <大学選びの流れ>

言うまでもなく、大学は専門分野の学問を修めて、将来の夢を実現させるためのステップの場です。「入ること」それ自体が目的ではありません。したがって、卒業後、豊かな職業人生を歩むために「何をどのように学ぶのか」を重点において、慎重に選ばなければなりません。

また、大学の学部には、教員養成学部や医学部のように、修める学問と職業が直結しているものもありますが、ほとんどの学部では、「大学での学び」と卒業後の進路とが密接に関係しているわけではありません。高校在学中に就きたい職業がはっきりしなくても、大学進学後に自分の可能性や適性を探ることができます。その意味で、「どんな職業に就くか」よりは「どんなことを学びたいか」が学部・学科選択のポイントになります。「何を学ぶか」をきちんと考えずに進学して、「これは自分のやりたいことではない」「あまり興味が持てない」などと後悔しないようにしたいものです。

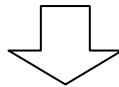
まずは、どのような分野に興味・関心があるのか、得意教科は何かを考え、それにつながる学問分野を調べることから始めましょう。

■ 大学を選ぶ流れ

第1期（高1・2）

将来を考える

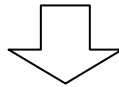
「大学で何を学びたいか?」「どんな能力や資格を身につけたいか?」「どんな仕事かしたいのか?」などを整理しましょう。



第2期（高1・2）

学問分野を調べる

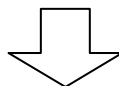
興味があることに関連するのはどのような分野の学問なのか、それはどの学部・学科で学べるのかを調べましょう。名称が同じ学部や学科でも、大学ごとに学ぶ内容が異なることもあります。その際、その分野が文系なのか理系なのかが大切です。文系と理系では入試科目が異なるので、慎重に検討する必要があるからです。



第3期（高3になる春までに）

第一志望校を決める

学びたいことや就きたい職業、そして入りたい大学が決まれば、自ずとやる気がわいてきます。目標を持つことでやるべきことも見えてきます。目標となる第1志望校を決めて、学習スケジュールを立てましょう。早期スタートが勝利へのカギです。



第4期（高3の夏までに）

受験校を決める

大学入試の制度や仕組みはめまぐるしく変化しています。また、志望校が国公立大学なのか私立大学なのか、一般入試で受験するのか推薦入試やAO入試で受験するのでも入試科目やスケジュールが大きく異なります。志望校の入試制度についてしっかりと調べるようにしましょう。そして、模擬試験の結果をもとに、実際の受験校を決めます。